

第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 宇都宮 研究発表大会 応募要領 〈平成26年11月29日(土)10時00分～12時45分(予定) 宇都宮共和大学〉

1. 研究発表の申込み方法

研究発表を希望される方は、件名を「宇都宮大会論文発表申込み」として以下をメール本文へ記載し、論集編集委員会 (ronsyuu@yasashii-transport.net) あて **10月10日(金)まで**にお申込み願います。

受付後、申込み受領のご連絡をいたします。

- ①発表者・連名者の氏名
- ②所属（職場、市民団体等）
- ③連絡先（住所、電話番号）
- ④発表論文タイトル
- ⑤発表内容に該当するキーワード（別表に掲載のキーワードから1～4個を選択）

◎研究発表登録料

申込み受領の連絡後1週間以内に、1件当たり **5,000円**を以下の口座へお振込み願います。

なお、領収書が必要な方はお申し出ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行（郵便局）

口座種類：振替口座

口座番号：00290- 3- 67795

口座名：やさしい交通全国大会

2. 論文の提出方法

発表論文は、メールへファイル添付し、論集編集委員会 (ronsyuu@yasashii-transport.net) あてに **平成26年10月15日(水)まで**にご送付ください。**所定のフォーマットのWordファイル**で受け付けます。フォーマットは下記別紙1・2を参照ください。2段組なし・ありの2種類があります。

3. 発表形式

発表はオーラル形式とし、発表用機材は大会主催者が用意する液晶プロジェクターのみとします。OHPやスライドプロジェクターは使用できません。プレゼン用ファイルは、USBメモリまたはCD-ROMに記録して各自持参してください。

提出された論文の各セッションへの配分・発表順序等は論集編集委員会にご一任願います。発表時間は質疑応答を含めて15分を基本とします。ただし、発表数次第では変更することがあります。なお、遠方からの参加により発表順序等のご希望がある場合は、可能な範囲で対応しますのでお知らせください。

◎論集配布

発表者には、大会当日に論集を1部お渡しします。なお会場では論集購入希望者には2,000円で販売する予定ですが、手元にない方もいる点にご留意ください。

<論文・研究発表に関するお問い合わせ先>

第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 宇都宮 論集編集委員会

(ronsyuu@yasashii-transport.net)

別 表

研究発表キーワード(案)	
1. まちづくり	3. 人と環境にやさしい移動の技術
交通まちづくり	EV/PHV/FCV(バス、自動車、電動車いす、二輪車)
トランジットモール	大型蓄電システム
コンパクトシティ	発電・充電システム
駅前広場	社会実験
ポケットローディング	ICカード
サイン計画	ビッグデータ
公共交通指向型開発(TOD)	信号制御
回遊性向上	交通流シミュレーション
中心市街地活性化	超小型モビリティ
地域再生	
景観	4. 費用便益分析
まちなみ保存	経路選択
緑化	交通需要予測
ゾーニング	LCA(Life Cycle Assessment)
スマートグロース	CVM(Contingent Valuation Method)
ユニバーサルデザイン	時間価値
街路計画	
道路空間の再配分	5. 政策提言
コミュニティゾーン	交通政策基本法
防犯	交通基本条例
防災・減災	交通権/移動権
持続可能性(サステナビリティ)	シビルミニマム
オープンカフェ	上下分離
健康まちづくり	規制緩和
スマートフォンの活用	民間活力
	税負担と財源
2. 公共交通と移動手段	起債
LRT	高齢化/人口減少社会
BRT	地球温暖化
デマンドバス	パブリックインボルブメント
コミュニティバス	合意形成
デマンドタクシー	住民参加
自主運行バス	協働
バリアフリー/アクセシビリティ	行政評価
自転車(シェアサイクル、ペロタクシー)	交通教育
自転車レーン	都市圏物流
公共交通優先システム(PTPS)	成長戦略
高度道路交通システム(ITS)	官民連携
環境的に持続可能な交通(EST)	PPP/PFI
モビリティマネジメント(MM)	震災復興
交通弱者	地域共生
カーフリーデー	地域再生
バスマップ	人材育成
カーシェアリング	運輸連合、交通協議会
交通需要管理(TDM)	共通乗車船券/ゾーン運賃
モーダルシフト	総合的な交通政策
パークアンドライド(P+R)	社会関係資本(ソーシャルキャピタル)
パーソナルモビリティ	独立採算制と公共インフラ
交通の優先度	

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (タイトル)

所属、氏名
ホームページ (あれば)、メールアドレス

はじめに

<空白行を1行>

1. ○○○○○○○○○○○○○○○○○

<空白行を1行>

2. ○○○○○○○○○○○○○○○○○

<空白行を1行>

3. ○○○○○○○○○○○○○○○○○

<空白行を1行>

4. ○○○○○○○○○○○○○○○○○

<空白行を1行>
おわりに

<空白行を1行>
参考文献<必要により>

<原稿作成時は、これは削除>

原稿作成上の注意事項

- 1) 題目は簡潔明瞭とし、あまり長くしない。
- 2) 以下のページ設定を基本とする。
余白：上下左右とも25mm
文字数・行数：44文字×38行
フッター：10mm
フォント：MS明朝 10.5pt
- 3) ちょうど2ページとなるよう、1ページ当り行数を30～45行の範囲で増減させて構わない。
- 4) 題目・項目名・本文とも、フォント設定は変えない。
- 5) 項目番号は本例では4までだが、増減は自由。項目内を(1)(2)・・・等と細分化しても構わない。
- 6) 最初の項目は「はじめに」、最後の項目は「おわりに」とする。
- 7) 各段落の頭は全角1文字の空白を入れる。
- 8) 項目と項目の間は空白行を1行入れる。
- 9) 本文は、左のインデント幅1字とする。
- 10) 図表は必要に応じて入れ、あまり小さな文字は使わない。
- 11) 「脚注」機能は使わない。
- 12) ファイル名は寄稿者の苗字とする。
- 13) このファイルは「2段組なし」なので、2段組する場合は「2段組あり」を使用する。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (タイトル)

所属、氏名
ホームページ (あれば)、メールアドレス

はじめに

<空白行を 1 行>

1. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

2. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

3. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

4. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

おわりに

<空白行を 1 行>

参考文献<必要により>

<原稿作成時は、これは削除>

原稿作成上の注意事項

- 1) 題目は簡潔明瞭とし、あまり長くとしなない。
- 2) 以下のページ設定を基本とする。
余白：上下左右とも 25mm
文字数・行数：21 文字×38 行×2 段
フッター：10mm
フォント：MS 明朝 10.5pt
- 3) ちょうど 2 ページとなるよう、1 ページ当り行数を 30～45 行の範囲で増減させて構わない。
- 4) 題目・項目名・本文とも、フォント設定は変えない。
- 5) 項目番号は本例では 4 までだが、増減は自由。項目内を (1) (2)・・・等と細分化しても構わない。
- 6) 最初の項目は「はじめに」、最後の項目は「おわりに」とする。
- 7) 各段落の頭は全角 1 文字の空白を入れる。
- 8) 項目と項目の間は空白行を 1 行入れる。
- 9) 図表は必要に応じて入れ、あまり小さな文字は使わない。
- 10) 「脚注」機能は使わない。
- 11) ファイル名は寄稿者の苗字とする。
- 12) このファイルは「2 段組あり」なので、2 段組しない場合は「2 段組なし」を使用する。